平成２７年度学校評価

学校評価とは、生徒たちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価の方法には、本校教職員による自己評価と、保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された委員会等において、自己評価の結果について評価する学校関係者評価があります。

また学校評価の結果は、ホームページで公表することで、地域に開かれた学校づくりを一層推進していくことを目指しています。

自己評価

自己評価実施方法

学校経営の重点に基づいて作成した評価項目について、本校教職員による自己評価（Ａ達成できた Ｂおおむね達成できた Ｃあまり達成できていない Ｄ達成できていない）を行い、次のように換算を行い数値化しました。

Ａ＝４点、Ｂ＝３点、Ｃ＝２点、Ｄ＝１点

教職員４６人中、４５人が回答し、全回答の平均は3.09でした。

評価について、右側に

3.2 以上 ◎　3～3.2 ○　2.8～3 無印　～2.8△ で表しています。

	日々の授業の充実	**3.14**	○
重点目標	授業研究の推進	3.20	○
重点目標	生徒の意欲を高める方法の研究	3.07	○
	生徒への励ましと生徒理解	**3.17**	○
重点目標	様々な場面での自己有用感・自尊心を高める	3.05	○
重点目標	多様な生徒に丁寧に対応する技術の研究と実践	3.28	◎
	教員の資質向上と「いきがいの創造」	**3.15**	○
重点目標	信頼される存在から尊敬される存在へ	3.02	○
重点目標	良質な職員室文化を創造する	3.42	◎
重点目標	個業から協働へ	3.00	○
	研究課題	**3.04**	○
重点目標	学力向上の取組と特色化	2.98	
重点目標	心のサポート事業を通した生徒理解を深める方法	3.21	◎
重点目標	２０年後まできれいな学校をのこす	2.95	

学校関係者評価

保護者、地域の方がメンバーとなっておられる、学校評議員会で自己評価の結果について意見をいただいています。

- 「ひょうご学力向上プロジェクト」の取組は、尼崎全体の学力向上につながることを期待している。
- 若手教員の授業力を向上させる取組を、「見える化」して実施してほしい。
- 一人一人の生徒と、じっくりと向き合うことができる時間をつくってほしい。
- 尼崎西高校では、生徒に一般常識を身につけさせ、人間力を育ててくれている。このようなきめ細やかな指導には、保護者・地域とも感謝している。
- これからはより一層、保護者・地域が積極的に学校を応援していかなければならない。
- 新しい校舎に合った清掃用具を購入し、２０年後まできれいな学校を残すことに尽力してほしい。